

出雲商工会議所管内 業種別景況（令和5年7月～9月期）

《全 業 種》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況（前年同期と前期との比較）								II 来期の見通し			
	前年同期（令和4年7～9月）と比べた 今期（令和5年7～9月）の状況				前期（令和5年4～6月）と比べた 今期（令和5年7～9月）の状況				今期（令和5年7～9月）と比べた 来期（令和5年10～12月）の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売 上 高	44.1	27.1	28.8	15.3	40.7	32.2	27.1	13.6	49.2	32.2	18.6	30.5
2 採 算	24.6	49.1	26.3	△ 1.8	28.1	54.4	17.5	10.5	36.8	47.4	15.8	21.1
3 仕 入 単 価	75.9	20.7	3.4	72.4	70.7	24.1	5.2	65.5	56.9	41.4	1.7	55.2
4 従 業 員 数					5.4	87.5	7.1	△ 1.8	12.5	85.7	1.8	10.7
5 資 金 繰 り					7.3	69.1	23.6	△ 16.4	18.2	69.1	12.7	5.5

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		16.9	59.3	23.7		-6.8		22.0	62.7		13.6	8.5		1.7

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売 上 ・ 受 注 の 減 少	38.7	6.5	3.2	48.4	8 設 備 店 舗 の 狭 小 ・ 老 朽 化	3.2	11.3	8.1	22.6
2 大 企 業 進 出 に よ る 競 争 激 化	0.0	4.8	1.6	6.5	9 取 引 条 件 の 悪 化	0.0	1.6	3.2	4.8
3 製 品 ・ 商 品 単 価 の 下 落	0.0	0.0	1.6	1.6	10 事 業 資 金 の 確 保 難	3.2	9.7	4.8	17.7
4 原 材 料 高 及 び 不 足	25.8	19.4	9.7	54.8	11 需 要 の 停 滞	0.0	11.3	11.3	22.6
5 在 庫 製 品 ・ 商 品 の 過 剰	0.0	0.0	3.2	3.2	12 円 相 場 に 伴 う 経 営 へ の 影 響	0.0	1.6	4.8	6.5
6 人 手 不 足	14.5	6.5	8.1	29.0	13 そ の 他	6.5	0.0	0.0	6.5
7 人 件 費 の 増 加	1.6	9.7	12.9	24.2	無 回 答	6.5	17.7	27.4	—

注) 「全体」=（1位+2位+3位を選んだ回答数）/全回答数

## 《 製 造 業 》

### 1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況（前年同期と前期との比較）								II 来期の見通し			
	前年同期（令和4年7～9月）と比べた 今期（令和5年7～9月）の状況				前期（令和5年4～6月）と比べた 今期（令和5年7～9月）の状況				今期（令和5年7～9月）と比べた 来期（令和5年10～12月）の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売 上 高	44.4	22.2	33.3	11.1	11.1	33.3	55.6	△ 44.4	88.9	0.0	11.1	77.8
2 採 算	33.3	22.2	44.4	△ 11.1	22.2	33.3	44.4	△ 22.2	55.6	33.3	11.1	44.4
3 仕 入 単 価	77.8	11.1	11.1	66.7	66.7	11.1	22.2	44.4	77.8	22.2	0.0	77.8
4 従 業 員 数					11.1	77.8	11.1	0.0	33.3	66.7	0.0	33.3
5 資 金 繰 り					12.5	75.0	12.5	0.0	25.0	75.0	0.0	25.0

注) ↑ 増加・上昇・好転    — 不変    ↓ 減少・低下・悪化

注) D I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

### 今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		0.0	66.7	33.3		△ 33.3		11.1	77.8		11.1	0.0		0.0

### 2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売 上 ・ 受 注 の 減 少	22.2	33.3	0.0	55.6	8 設 備 店 舗 の 狭 小 ・ 老 朽 化	0.0	22.2	22.2	44.4
2 大 企 業 進 出 に よ る 競 争 激 化	0.0	0.0	0.0	0.0	9 取 引 条 件 の 悪 化	0.0	0.0	11.1	11.1
3 製 品 ・ 商 品 単 価 の 下 落	0.0	0.0	0.0	0.0	10 事 業 資 金 の 確 保 難	11.1	11.1	0.0	22.2
4 原 材 料 高 及 び 不 足	33.3	0.0	22.2	55.6	11 需 要 の 停 滞	0.0	11.1	11.1	22.2
5 在 庫 製 品 ・ 商 品 の 過 剰	0.0	0.0	0.0	0.0	12 円 相 場 に 伴 う 経 営 へ の 影 響	0.0	0.0	22.2	22.2
6 人 手 不 足	11.1	11.1	0.0	22.2	13 そ の 他	11.1	0.0	0.0	11.1
7 人 件 費 の 増 加	11.1	11.1	11.1	33.3	無 回 答	0.0	0.0	0.0	—

注) 「全体」 = (1位 + 2位 + 3位を選んだ回答数) / 全回答数

### 3、業界内のトピック（調査対象事業所からの意見等）

- ・ 中国関連の受注減少
  - ・ 売上はコロナ前に戻っているが、人手不足に悩んでいる
  - ・ 人件費増加
  - ・ 国内すべてのタイヤメーカーが生産量減
- ・ EV産業低迷・中国不況により原料の仕入れ単価低下
  - ・ 新型コロナの時の資金難が今も尾を引いている

## 《建設業》

### 1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況（前年同期と前期との比較）								II 来期の見通し			
	前年同期（令和4年7～9月）と比べた 今期（令和5年7～9月）の状況				前期（令和5年4～6月）と比べた 今期（令和5年7～9月）の状況				今期（令和5年7～9月）と比べた 来期（令和5年10～12月）の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上高	12.5	37.5	50.0	△ 37.5	50.0	25.0	25.0	25.0	50.0	37.5	12.5	37.5
2 採算	14.3	57.1	28.6	△ 14.3	42.9	57.1	0.0	42.9	42.9	42.9	14.3	28.6
3 仕入単価	62.5	37.5	0.0	62.5	50.0	50.0	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	50.0
4 従業員数					0.0	75.0	25.0	△ 25.0	0.0	87.5	12.5	△ 12.5
5 資金繰り					12.5	62.5	25.0	△ 12.5	50.0	37.5	12.5	37.5

注) ↑ 増加・上昇・好転    — 不変    ↓ 減少・低下・悪化

注) D I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

### 今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		25.0	62.5	12.5		12.5		62.5	25.0		12.5	50.0		0.0

### 2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売上・受注の減少	37.5	0.0	12.5	50.0	8 設備店舗の狭小・老朽化	0.0	0.0	0.0	0.0
2 大企業進出による競争激化	0.0	12.5	0.0	12.5	9 取引条件の悪化	0.0	0.0	0.0	0.0
3 製品・商品単価の下落	0.0	0.0	0.0	0.0	10 事業資金の確保難	0.0	0.0	0.0	0.0
4 原材料高及び不足	25.0	25.0	12.5	62.5	11 需要の停滞	0.0	12.5	0.0	12.5
5 在庫製品・商品の過剰	0.0	0.0	0.0	0.0	12 円相場に伴う経営への影響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人手不足	37.5	12.5	37.5	87.5	13 その他	0.0	0.0	0.0	0.0
7 人件費の増加	0.0	25.0	12.5	37.5	無回答	0.0	12.5	25.0	—

注) 「全体」= (1位+2位+3位を選んだ回答数) / 全回答数

### 3、業界内のトピック（調査対象事業所からの意見等）

- |   |   |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資材の値上がりが続いている</li> <li>・ 建設業界全体で仕事が減ってきている</li> <li>・ 住宅着工数の減少、瓦採用の激減</li> <li>・ 一般住宅の購入が減少しているかもしれない</li> <li>・ 住宅の新築が減少</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ コロナが一段落したため、住宅リフォームから旅行等外への支出に戻ってきている</li> <li>・ 下請の大工がインボイス対応していない</li> </ul> |
|---|---|

## 《卸 ・ 小 売 業》

### 1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況 (前年同期と前期との比較)								II 来期の見通し			
	前年同期(令和4年7~9月)と比べた 今期(令和5年7~9月)の状況				前期(令和5年4~6月)と比べた 今期(令和5年7~9月)の状況				今期(令和5年7~9月)と比べた 来期(令和5年10~12月)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売 上 高	50.0	22.2	27.8	22.2	44.4	27.8	27.8	16.7	33.3	38.9	27.8	5.6
2 採 算	16.7	44.4	38.9	△ 22.2	22.2	55.6	22.2	0.0	22.2	55.6	22.2	0.0
3 仕 入 単 価	72.2	22.2	5.6	66.7	66.7	27.8	5.6	61.1	44.4	50.0	5.6	38.9
4 従 業 員 数	/	/	/	/	0.0	94.4	5.6	△ 5.6	11.1	88.9	0.0	11.1
5 資 金 繰 り	/	/	/	/	0.0	66.7	33.3	△ 33.3	5.6	77.8	16.7	△ 11.1

注) ↑ 増加・上昇・好転    — 不変    ↓ 減少・低下・悪化

注) D I (業況判断指数)とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

### 今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		16.7	44.4	38.9		-22.2		16.7	72.2		11.1	5.6		0.0

### 2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売 上 ・ 受 注 の 減 少	42.1	0.0	0.0	42.1	8 設 備 店 舗 の 狭 小 ・ 老 朽 化	10.5	10.5	0.0	21.1
2 大 企 業 進 出 に よ る 競 争 激 化	0.0	0.0	5.3	5.3	9 取 引 条 件 の 悪 化	0.0	5.3	0.0	5.3
3 製 品 ・ 商 品 単 価 の 下 落	0.0	0.0	0.0	0.0	10 事 業 資 金 の 確 保 難	0.0	21.1	15.8	36.8
4 原 材 料 高 及 び 不 足	21.1	21.1	10.5	52.6	11 需 要 の 停 滞	0.0	5.3	5.3	10.5
5 在 庫 製 品 ・ 商 品 の 過 剰	0.0	0.0	10.5	10.5	12 円 相 場 に 伴 う 経 営 へ の 影 響	0.0	5.3	0.0	5.3
6 人 手 不 足	15.8	0.0	10.5	26.3	13 そ の 他	5.3	0.0	0.0	5.3
7 人 件 費 の 増 加	0.0	15.8	21.1	36.8	無 回 答	5.3	15.8	21.1	—

注) 「全体」= (1位+2位+3位を選んだ回答数) / 全回答数

### 3、業界内のトピック (調査対象事業所からの意見等)

- ・ 仕入商品の価格アップ率が15%以上となるものが増えた
- ・ コロナによる買い控え、顧客の高齢化
- ・ 9月残暑の為来店客少なかった
- ・ エネルギー価格高騰が大きく収益に影響

- ・ 春以降商品の仕入れ価格が何回も上がり、採算が合わなくなっている
- ・ 円安の為、原油の仕入価格が高騰、価格転嫁できず収益が圧縮されている
- ・ 時計メーカーによる商品価格の値上げ。
- ・ 仕入単価上昇により採算悪化
- ・ 原材料やネット利用料等が軒並み高騰

## 《サービス業》

### 1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況 (前年同期と前期との比較)								II 来期の見通し			
	前年同期(令和4年7~9月)と比べた 今期(令和5年7~9月)の状況				前期(令和5年4~6月)と比べた 今期(令和5年7~9月)の状況				今期(令和5年7~9月)と比べた 来期(令和5年10~12月)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上高	25.0	41.7	33.3	△ 8.3	50.0	41.7	8.3	41.7	41.7	33.3	25.0	16.7
2 採算	18.2	81.8	0.0	18.2	36.4	54.5	9.1	27.3	45.5	36.4	18.2	27.3
3 仕入単価	63.6	36.4	0.0	63.6	63.6	36.4	0.0	63.6	54.5	45.5	0.0	54.5
4 従業員数					18.2	81.8	0.0	18.2	18.2	81.8	0.0	18.2
5 資金繰り					0.0	81.8	18.2	△ 18.2	9.1	72.7	18.2	△ 9.1

注) ↑ 増加・上昇・好転    — 不変    ↓ 減少・低下・悪化

注) D・I (業況判断指数) とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

### 今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		0.0	100.0	0.0		0.0		18.2	63.6		18.2	0.0		8.3

### 2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売上・受注の減少	50.0	0.0	0.0	50.0	8 設備店舗の狭小・老朽化	0.0	14.3	0.0	14.3
2 大企業進出による競争激化	0.0	7.1	0.0	7.1	9 取引条件の悪化	0.0	0.0	7.1	7.1
3 製品・商品単価の下落	0.0	0.0	7.1	7.1	10 事業資金の確保難	7.1	0.0	0.0	7.1
4 原材料高及び不足	14.3	14.3	0.0	28.6	11 需要の停滞	0.0	7.1	14.3	21.4
5 在庫製品・商品の過剰	0.0	0.0	0.0	0.0	12 円相場に伴う経営への影響	0.0	0.0	7.1	7.1
6 人手不足	0.0	14.3	0.0	14.3	13 その他	7.1	0.0	0.0	7.1
7 人件費の増加	0.0	0.0	7.1	7.1	無回答	21.4	42.9	57.1	—

注) 「全体」 = (1位 + 2位 + 3位を選んだ回答数) / 全回答数

### 3、業界内のトピック (調査対象事業所からの意見等)

- |  |   |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 消耗品の値上がり</li> <li>・ 介護業界の賃上げに対する国の施策検討の動き</li> <li>・ 物価高で財布のひもがしまってきている</li> <li>・ しまね旅キャンペーンが終了したため売上減少</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ガソリン代や仕入れ価格が高騰し、利益率が低下している。価格を見直して対策している。</li> <li>・ インターネットで購入されるお客様が多いため、売上減少が課題</li> <li>・ 人手不足だが、雇用を増やそうと思うと高額な人件費を支払う必要がある</li> <li>・ 競合店が増えており、差別化が必要</li> </ul> |
|--|---|

## 《 飲 食 業 》

### 1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況（前年同期と前期との比較）								II 来期の見通し			
	前年同期（令和4年7～9月）と比べた 今期（令和5年7～9月）の状況				前期（令和5年4～6月）と比べた 今期（令和5年7～9月）の状況				今期（令和5年7～9月）と比べた 来期（令和5年10～12月）の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売 上 高	75.0	16.7	8.3	66.7	41.7	33.3	25.0	16.7	50.0	41.7	8.3	41.7
2 採 算	41.7	41.7	16.7	25.0	25.0	66.7	8.3	16.7	33.3	58.3	8.3	25.0
3 仕 入 単 価	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	66.7	33.3	0.0	66.7
4 従 業 員 数	/	/	/	/	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
5 資 金 繰 り	/	/	/	/	20.0	60.0	20.0	0.0	20.0	70.0	10.0	10.0

注) ↑ 増加・上昇・過剰・好転    — 不変    ↓ 減少・低下・不足・悪化

注) D I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

### 今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		41.7	33.3	25.0		16.7		16.7	66.7		16.7	0.0		0.0

### 2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売 上 ・ 受 注 の 減 少	33.3	8.3	8.3	50.0	8 設 備 店 舗 の 狭 小 ・ 老 朽 化	0.0	8.3	25.0	33.3
2 大 企 業 進 出 に よ る 競 争 激 化	0.0	8.3	0.0	8.3	9 取 引 条 件 の 悪 化	0.0	0.0	0.0	0.0
3 製 品 ・ 商 品 単 価 の 下 落	0.0	0.0	0.0	0.0	10 事 業 資 金 の 確 保 難	0.0	8.3	0.0	8.3
4 原 材 料 高 及 び 不 足	41.7	33.3	8.3	83.3	11 需 要 の 停 滞	0.0	25.0	25.0	50.0
5 在 庫 製 品 ・ 商 品 の 過 剰	0.0	0.0	0.0	0.0	12 円 相 場 に 伴 う 経 営 へ の 影 響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人 手 不 足	16.7	0.0	0.0	16.7	13 そ の 他	8.3	0.0	0.0	8.3
7 人 件 費 の 増 加	0.0	0.0	8.3	8.3	無 回 答	0.0	8.3	25.0	—

注) 「全体」=（1位+2位+3位を選んだ回答数）/全回答数

### 3、業界内のトピック（調査対象事業所からの意見等）

- ・ 仕入れ価格の上昇と40～50代のサラリーマン層の客足が減少しているように感じる
- ・ 物価上昇し、価格を上げた
- ・ タクシー台数の減少
- ・ 旅行者は増加しているが、今まで出ていた人が出ていない感じ

- ・ コロナが5類に移行してから徐々にお客さんが増加している
- ・ 宴会減少、忘年会をやらなくなった会社もある。あと1～2年は辛抱の年。
- ・ 売上をあげるためにメニューに変化をつけ活気ある店づくりをしていく